



## 校 正 証 明 書

依 頼 者 名 株式会社テクニカル  
依 頼 者 住 所 青森県弘前市神田5丁目2番地1  
校 正 実 施 場 所 国立研究開発法人産業技術総合研究所つくば中央第三事業所  
計 量 器 名 ポリゴン鏡  
製 造 者 名 株式会社ニコン  
型 式 ・ 器 物 番 号 器物番号 9291  
校 正 方 法 角度校正装置 (AE-M01-1) とオートコリメータ (AE-M09) を  
用いた比較校正法  
校 正 実 施 条 件 測定温度 20 °C ±1 °C  
校 正 結 果 2 頁のとおり  
受 付 年 月 日 2016 年 4 月 15 日  
校 正 実 施 年 月 日 2016 年 4 月 20 日 ~ 2016 年 5 月 20 日

以上に相違ないことを証明する

校正責任者  
計量標準総合センター

渡部 司

渡部 司

発行日 2016 年 5 月 27 日

発行者  
東京都千代田区霞が関一丁目3番1号  
国立研究開発法人  
産業技術総合研究所  
理事長 中鉢 良治



この証明書に記載された校正の結果は、国家標準にトレーサブルである。  
事前の承認なしに、この証明書の一部分のみを複製してはならない。

## 校正結果

多面鏡の各面の理論的角度位置  $\theta_i$  は次式で表される。ただし  $N$  は校正面総数、 $i$  は面番号である。

$$\theta_i = \frac{360^\circ}{N}(i-1)$$

校正値  $\Delta\theta_i$  は、理論的角度位置  $\theta_i$  からの偏差とし記載する。ただし面番号  $i = 1$  の校正値を 0 とする。

校正面総数  $N$  : 8

面番号 $i$ (多面鏡本体の面番号)	校正値 $\Delta\theta_i$ (″)	拡張不確かさ (″) 包含係数 $k = 2$
1 (0)	0.00	0.24
2 (30)	-0.05	
3 (60)	1.02	
4 (90)	-0.07	
5 (120)	0.28	
6 (150)	0.52	
7 (180)	0.11	
8 (210)	0.28	

上記の拡張不確かさは、包含係数  $k = 2$  を合成標準不確かさに乗じて求めたものである。包含係数  $k = 2$  は、正規分布においては、約 95 % の信頼の水準に相当するものである。

以上